

まえがき [i]

第 1 部 確率論前史 [1]

- 第 1 章 賭けの精神 [2]
- 第 2 章 神意と占い [18]
- 第 3 章 古代における蓋然論の概念 [30]
- 第 4 章 古代蓋然論の没落 [47]
- 第 5 章 中世：焦れたい時代 [61]
- 第 6 章 古代・中世の組合せ論 [77]

第 2 部 確率計算の曙 [97]

- 第 7 章 マイモニデス [98]
- 第 8 章 トマス・アクィナス [107]
- 第 9 章 12 世紀から 15 世紀までの西欧でのいろいろな研究 [118]

第 3 部 古典確率論の陣痛期 [135]

- 第 10 章 カルダーノ [136]
- 第 11 章 16 世紀のいろいろな研究 [163]
- 第 12 章 ガリレオ・ガリレイ [179]
- 第 13 章 1600 年から 1650 年までのいろいろな研究 [187]
- 第 14 章 パスカル・フェルマー・ホイヘンス [201]
- 第 15 章 死亡表と生命保険（政治算術） [221]
- 第 16 章 17 世紀後半の諸研究 [249]

索引 [274]